

2015年4月2日

窓と有名建築を120名が全身で表現！！ 「まど体操」を新入社員研修プログラムに初導入

YKK AP株式会社（社長：堀 秀充、本社：東京都千代田区、資本金：100億円）は、自社の戦略製品である窓に対する愛着と関心の向上を目的に、窓研究所（所長：専門役員 山本絹子）とチームけんちく体操とのコラボレーションで開発した「まど体操」を、2015年4月14日にYKK AP黒部製造所（所在地：富山県黒部市）にて実施される新入社員研修プログラムとして、今年度初めて採用します。2015年度の全国採用の新入社員120名が一丸となり、自社の戦略製品である窓や、窓が特徴的な有名建築などを、カラダを使い全身で表現します。



「折戸」の開閉の動きを全身で表現

（出演：YKK AP 窓研究所 社員＋チームけんちく体操＋プロダンサー）

「まど体操」は、米山勇氏（東京都江戸東京博物館研究員）を中心とするチームけんちく体操と、窓に特化した独自の研究活動“窓学”に取り組むYKK AP株式会社 窓研究所とのコラボレーションによって生まれたプログラムです。窓に対する愛着と関心を高めることを目的に開発され、チームに分かれて窓そのものの形状や、開閉動作の違いなどを、全身を使って楽しく表現します。

自社の戦略製品の窓に関する座学は、これまでも研修にて実施してまいりました。しかし、より身近に窓を意識するきっかけを作りたいという思いから、本研修プログラムを初めて採用しました。会場となる体育館では、ステージ上の大型スクリーンにお題となる窓や建築の写真を投影し、新入社員が数名～数十名のチームを組み、窓の細かなディテールや動きなどに注目しながら、それぞれが個性豊かに全身を使って表現します。「窓を考える会社YKK AP」ならではの導入教育として、チームで考え、行動し、その評価を次に生かす一連の体験が可能になります。

<ご参考>

※チームけんちく体操

米山勇 [よねやま いさむ]

／建築史家・東京都江戸東京博物館研究員

高橋英久 [たかはし ひでひさ]

／東京都歴史文化財団学芸員

田中元子 [たなか もとこ]

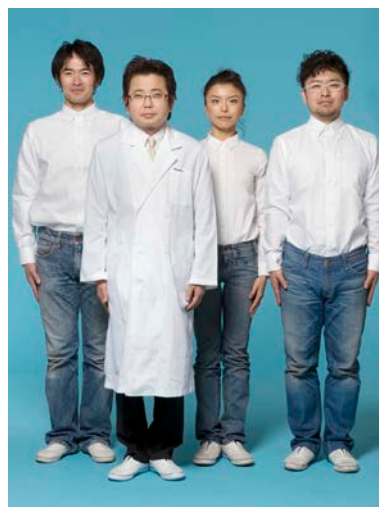
／ライター・クリエイティブファシリテーター

大西正紀 [おおにし まさき]

／編集者・建築家

けんちく体操ホームページ

<http://kenchiku-taiso.com/index.html>



開発にご協力いただいた「チームけんちく体操」は、建物の形を身体だけを使って表現するワークショップ形式の教育プログラムであり、その教育的貢献により、2013年には日本建築学会教育賞を受賞。その活動は建築分野でも高く評価され、国内外を問わず注目を集めています。

※「窓学」とは

YKK APは「窓は文明であり、文化である」という思想のもと、窓に特化した独自の研究活動「窓学」に取り組んでいます。2007年からスタートしたこの活動をさらに推進する目的で、2013年には「窓研究所」を設立。窓文化創造に向けて、窓の専門知識を収集・保存し、その魅力や新しい可能性を社会へと発信・提言しています。

YKK AP 窓研究所ホームページ：<http://www.madoken.jp>

< 報道関係者からのお問い合わせ先 >

YKK AP株式会社

広報室 竹澤 真琴

TEL : 03-3864-2321 FAX : 03-3864-2290

E-mail : k_ykkap@ykkap.co.jp